

園だより あおいそら 7月号

令和8年6月15日（月）熊本大学教育学部附属幼稚園

♪園長のコラム♪

幼児期に育みたい力



6月2日（火）に行われました「第1回 父母の会」にご参加いただきありがとうございました。

今年度も熊本大学教育学部の高崎文子先生にご講話をいただきました。演題は「幼児期にこれを育みたい！～子どもたちにとって必要な経験とは～」という内容でお話しいただきました。私も保護者の皆様も、メモを取りながら自分自身の経験と照らし合わせながら子育てについて考える良い時間となりました。

幼児期に育みたい力

自分を好きだと思える・自尊感情
自信をもって人と関われる・他者との信頼関係
自分で考え行動できる・主体性

特に印象に残った部分

- 安心して助けてもらえる信頼感（レジリエンス）
- 人に頼ることができる力（援助要請力）
- 安心して失敗・挑戦できること（心理的安全性）

これまでの子育てや教職経験・そして自分自身の人生を振り返ってみたときに、レジリエンス・援助要請力・心理的安全性は大切だと感じました。幼児期に育みたい力ではありますが、私たち大人にも必要な力ではないかと思います。何より、保護者の皆様が柔軟性をもって「今をよし！」とし、完璧を求めず温かく子どもの姿を受け止め、子育てを楽しんでいただければ幸いです。幼児期の子育てはあっという間です・・・。

「完璧な子育て」より「安心できる関係づくり」を大切に ～高崎先生のことばから～

研修を受けて、保護者の皆様から多くの感想をいただきました。その一部をご紹介します。

○子どもと接する中で感じることは、子育てをしながら自分自身と向き合っているということです。自尊心、他者への信頼など、大人にとっても大切なことだと思います。自分らしく子どもが成長できるよう一緒に学び続けていこうと思います。

○考える力の基礎を培うためには、人と比べるのではなく、自分はどうしたいのか、どう考えて行動するのかということを伝えていくことが大切だと感じました。失敗を恐れずいろいろなことに挑戦してほしいです。

○子どもの気持ちにより添いながら、失敗も成長の機会として受け止め、安心して挑戦できる環境をつくっていきたいと思いました。

皆様、多くのご感想ありがとうございました。私自身、感想を読みながら、改めて幼児教育に育みたい力について考えることができました。皆様の大切なお子様が伸び伸びと成長されますよう、努力して参ります。

※ 守谷先生の講話については、8月号でお知らせいたします。



自然の恵みを全身で感じる素敵な姿

梅雨に入り、雨の日が多くなっています。雨の日は、傘や長靴、レインコートなど雨の日ならではの姿で登園されます。園での遊びを考えたとき、雨の日は何をして遊ぶのだろう？と疑問に思っていました。しかし、子どもさんたちは、自然の恵みを全身で感じ、遊びに変えていきます。

例えば

- 雨で緩んだ土の上を歩く
- 水滴がついた窓ガラスをキャンパスに見立て絵をかく
- ひしゃくに雨をため雨が落ちる音を楽しむ
- たらいに溜まる水を別容器にくみ取り水の動きを楽しむ
- 雨上がりの園庭で緩んだ土を直接手で触り感触を楽しむ
- 園庭に絵をかく など



このような素敵な姿を大切に、子どもの育ちを豊かなものにできればと考えています。

保護者の皆様、いつも温かく見守ってください、ありがとうございます。